

L2Blocker Tri-Sphere on SCCloud

サービス仕様書

株式会社ソフトクリエイト

目次

1. サービス概要.....	4
2. 利用条件.....	4
3. サービス内容.....	6
4. メンテナンス.....	7
5. バージョンアップポリシー.....	7
6. 制限事項.....	8
7. 注意事項.....	8

はじめに

◇

- ①本書は内容およびプログラムの一部または全部を、当社に無断で転載・複製することを禁止しております。
- ②本書およびプログラムに関して、将来予告なしに変更することがあります。
- ③プログラムの機能向上のため、本書の内容と実際の画面・操作が異なる場合があります。
本書と異なる場合は、実際の画面・操作を優先とさせていただきます。
- ④本書の内容について、ご不審な点・誤り・記載漏れなど、お気づきのことがございましたら当社までご連絡ください。
- ⑤本書の画像および印刷例に表記されている会社名・数値などは、実在のものとは関係ございません。
- ⑥本書に記載している会社名・製品名などは、各社の商標または登録商標となります。
- ⑦本サービス名は、L2Blocker Tri-Sphere on SCScloud（以下、L2Blocker on SCScloud と表記）となります。

1. サービス概要

L2Blocker on SCScloud は、弊社製の不正 PC 接続防止製品である L2Blocker をクラウドサービスとして提供するサービスです。専用サーバを自社内に立てることなく、サーバの運用管理をすることなく L2Blocker をクラウドサービスとしてご利用いただけます。

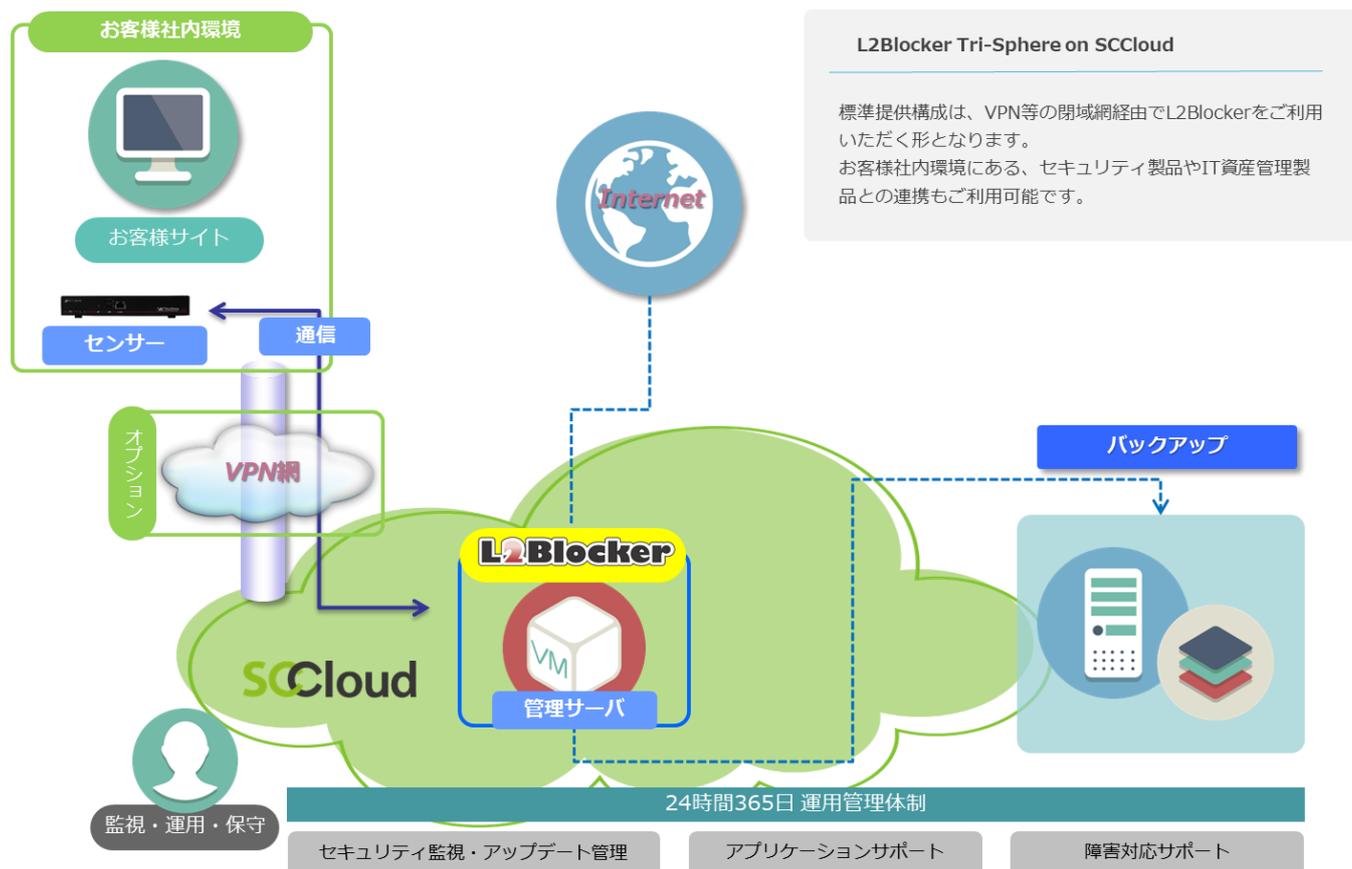
2. 利用条件

本サービスは、製品ライセンス及び製品サポート年間更新は当社経由にてご購入いただく前提となります。

2-1.通信条件

- ・ L2Blocker on SCScloud のご利用には弊社クラウド環境との VPN 接続が必要となります。
 - ・ VPN 接続により弊社クラウド環境に接続が可能な PC からご利用いただけます。
 - ・ 管理者様の PC または L2Blocker の管理画面を操作する方の PC がある環境及び、L2Blocker センサーを設置している環境から「L2Blocker on SCScloud」に対して、下記のポートの通信を許可して頂く必要があります。プロキシサービスやファイアウォールをご利用の際はご注意ください。
- ※ 「L2Blocker on SCScloud」の IP に対して開放が必要な通信ポート
- ・ マネージャアクセス用 : http (TCP 9837)
 - ・ センサー通信 : (TCP 9827)
- ※ 記載された内容および製品の仕様は、改良のために予告なく変更される場合があります。
- ※ L2B マネージャのアラートメール機能をご利用される場合は、ご利用のメールサーバとの間でご使用される認証方式の通信が取れる必要がありますので合わせてご確認ください。

■サービス概要図



2-2.利用設定

- ・マニュアル類を参考に L2B センサー及び L2B マネージャの各種設定を行って下さい。
※L2Blocker 製品の納品物に製品マニュアル類が同梱されております。
※アクセス先サイトの URL 及びログイン ID などをご契約後にお知らせとなります。

2-3.製品仕様

- ・L2Blocker 製品の動作製品仕様については以下の URL の「L2Blocker 仕様」よりご確認ください。
<https://www.l2blocker.com/price>
※ 記載された内容および製品の仕様は、改良のために予告なく変更される場合があります。
※ 上記 URL 先の「L2Blocker クラウド版」は、本サービスとは異なるサービスです。

3. サービス内容

3-1. 全般

- ・ L2Blocker on SCCloud は、L2Blocker の製品版を別途契約いただく必要があります。
- ・ ご利用いただける製品バージョンは ver.4.7.x 以上となります。
- ・ L2Blocker on SCCloud の最低ご利用期間は 3 ヶ月となります。

3-2. 機能概要

・ L2Blocker 主な機能

L2Blocker はネットワーク内の ARP パケットを読み取り、不正端末のアクセスを検知、遮断するシステムです。

不正端末の検知・遮断は Windows の PC だけでなく、Mac や Linux、Unix、または iPhone や Android 等のスマートフォン・タブレットなどの幅広い端末に対して有効です。

- 導入フェーズによって選べる 3 つの動作モードを用意

不正機器の接続をブロックするためには、事前に許可リスト（ホワイトリスト）の作成が必要です。数十、数百と存在する社内端末をすべて手作業で登録するのは大変です。過去に購入した全ての端末を台帳管理していないケースでは、CSV の一括取り込みもできない場合があります。L2Blocker では、フェーズによって「収集だけ行うモード」「自動ブロックしないモード」「自動ブロックモード」を切り替えて利用することができます。

・ L2Blocker オプション機能

- Endpoint Monitor Option

Endpoint Monitor Option は、L2Blocker の有償オプションです。サイバー攻撃時代のエンドポイントセキュリティ対策として有効な機能を提供します。クライアント PC の脆弱性を可視化し、一定のセキュリティ基準を満たしていない PC を自動的に検出し、L2Blocker と連携して該当 PC のネットワークへのアクセスをブロックすることが可能となります。

- パロアルトネットワークス次世代ファイアウォール連携

パロアルトネットワークスの次世代ファイアウォールとの連携機能は有償オプションです。次世代型ファイアウォールでネットワーク内部から発生した脅威となる通信を検知し、通信を止めると同時に検知ログを L2Blocker に送信します。これを受けた L2Blocker は該当機器を特定し、ネットワークから即時遮断します。

※その他、製品機能の詳細については下記製品サイトを参照ください。

<https://www.l2blocker.com/>

3-3.バックアップ

- ・本サービスのバックアップは2世代(2日前)となります。本サービスのバックアップはサービス障害時の復旧を目的としております。お客様操作に起因するデータ消去やログ喪失等を本バックアップにより復元することは出来ません。

3-4.サービス提供時間

- ・24時間365日でサービスをご利用頂けます。
- ※但し、メンテナンス時間を除きます(詳細は、「4.メンテナンス」をご参照ください)。

3-5.テクニカルサポート

- ・お問い合わせ連絡先、お問い合わせ時間はご契約時に発行する設定通知書に記載しています。
- ・テクニカルサポートの範囲は本サービスでご提供する機能に限ります。
- ・お客様環境に起因するテクニカルサポートはお受けできません。

3-6.障害サポート

- ・障害サポートの範囲は、本サービスの提供環境に限ります。
- ・障害対応は24時間365日で提供いたしますが、定期メンテナンス時間帯(1時~6時)の間は、自動運転(※)となります。
- ・お客様環境に起因する障害のサポートはお受けできません。

※自動運転とは、一定の障害復旧用オペレーション(サービスダウン検知後、自動的にサービス起動実行を行うなど)を自動化する弊社運用体制を指します。エンジニアによる復旧対応作業時間は、6時01分~0時59分となります。

3-7.その他

- ・本サービスご利用開始後の設定追加作業等はすべてオプションでの対応となります。当社担当営業までお問合せください。

4. メンテナンス

- ・毎日AM1時~AM6時の時間帯で、計画メンテナンス(バックアップなど)及びアップデートを実施することがあります。なお、メンテナンス作業中はサービスをご利用いただけない場合があります。
- ・ファームウェア等のパッチ適用は当社が必要と判断した場合にのみ適時行います。

5. バージョンアップポリシー

- ・L2Blockerのメジャー、マイナーバージョンアップは有償対応になります。

6. 制限事項

- ・テクニカルサポートなどに使用するため、弊社用の管理者ユーザーを作成させて頂く場合があります。
- ・当サービスでは、稼動 OS に対してお客様環境からの操作は行えません。
- ・当該アプリケーションの機能のうち、OS 上の操作を必要とするものは当サービスでは原則としてご利用いただけません。別途ご相談ください。

7. 注意事項

- ・お客様のご利用状況によって L2Blocker サーバのリソースを増加する必要がある場合は、別途リソース追加オプションが必要となります。
- ・お客様ご自身で設定変更や設定追加を行った事に起因する障害対応や復旧対応は原則として別途有償となりますので予めご了承ください。
- ・ウイルス感染した端末からのアクセスや不正動作が疑われる場合は、アクセスを無効にさせて頂く場合があります。
- ・ソフトウェアの特性上、バックアップデータから一部の機能だけ復旧する事はできません。
- ・バックアップデータからお客様のデータ削除等による任意の復旧は致しません。
- ・L2Blocker の既存設定の移行や L2Blocker の教育研修は別途費用が発生します。